

【がん種】 [非ホジキンリンパ腫](#)
【レジメン名】 Pola+BR②2コース目～
【登録番号】 011160
【1コースの期間】 3週間
【投与間隔調整規定】 -1日
【総コース数】 5コースまで
【催吐性リスク】 中等度:トレアキシン、軽度:ボライビー、最小度:リツキシマブBS
【抗がん剤の組織障害性】 ビシカント(壊死性):トレアキシン、ノンビシカント(非壊死性):リツキシマブBS、ボライビー
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、注入に伴う反応、発熱、疲労、傾眠、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚不全、下痢、便秘、末梢性感覚ニューロパチー、末梢性運動ニューロパチー、脱毛、湿疹
【必要な検査】 一般採血
【根拠論文】 Cancer Sci 112:2845-2854, 2021. J Clin Oncol 38:155-165, 2019. J Clin Pharmacol 57:1400-1408, 2017. 2018001試験.

【点滴の時間】 [day1]約4時間40分、[day2]1時間40分
【その他】 対象患者:CD20+の再発・難治性DLBCL.
ボライビー:155mgを超える場合は生理食塩液100mLに希釈する.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日			
					1	2	...	21
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○			
2	アセトアミノフェン錠 200mg	3 錠/回	内服	1日1回 リツキシマブBS投与30分前	○			
3	生理食塩液 50mL デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL ポララミン注 5mg/1mL	1 B 1 A 2 V 1 A	側管	全開 開始時にアセトアミノフェン内服	○			
4	生理食塩液 100mL アロキシン静注 0.75mg	1 B 1 A	側管	30分	○			
5	生理食塩液 500mL リツキシマブBS点滴静注「KHK」	- mL 375 mg/m2	側管	1mg/mLの濃度に調製 初回 50mL/hで開始し、30分毎に50mL/hずつ速度を上げ、最大400mL/hまで 2回目～ 100mL/hで開始し、30分毎に100mL/hずつ速度を上げ、最大400mL/hまで	○			
6	生理食塩液 50mL ボライビー点滴静注用 蒸留水 100mL 調製後6時間以内に投与を終了する	1 B 1.8 mg/kg 1 B	側管	初回90分、2回目～30分 フィルター使用 ボライビー溶解用	○			
7	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 2 A 1 V	側管	30分		○		
8	生理食塩液 50mL トレアキシン点滴静注液 調製後6時間以内に投与を終了する	1 B 90 mg/m2	側管	10分	○	○		